

学校教育論

貴島 正秋

講義 1年次 前期 2単位

授業目的・方針、到達目標

子どもの時期の「学習」の大部分は「学校」で行われる。しかし「学校」は死んでいるとか、崩壊していると言われて久しいが、子どもが存在している限り、「学校」はなくなりえない。つまり「学校」の教育いかんによって、子どもの成長に影響ははなはだ大きい。理想な学校教育を求めて、学校制度の変遷、学校の管理と経営、学年・学級の経営、さらに学校と地域社会・家庭との連携についても考慮して講義をする。

授業内容

- 1：日本における学校制度の変遷（明治以前）①
- 2：日本における学校制度の変遷（明治）②
- 3：日本における学校制度の変遷（大正）③
- 4：日本における学校制度の変遷（昭和）④
- 5：日本における学校制度の変遷（平成）⑤
- 6：学校の管理と経営（公務と校務分掌）①
- 7：学校の管理と経営（職員会議、学校評議員）②
- 8：学校の管理と経営（学校崩壊）③
- 9：学年・学級の経営（教室環境の整備、学級集団づくり）①
- 10：学年・学級の経営（学習指導、学級運営）②
- 11：学年・学級の経営（学級王国、学級崩壊、少人数学級）③
- 12：学校の現代的な課題（学校）①
- 13：学校の現代的な課題（地域社会）②
- 14：学校の現代的な課題（家庭の連携）③
- 15：まとめ

評価方法

定期試験とレポート、教職科目であるので出席を重要視する。試験・レポート・出席の三点を考慮して総合的に評価する。

各自準備物

口述筆記なのでノートを用意すること。

その他

教員免許取得に必要な科目であるので受講生は教員になるという使命を意識して参加してほしい。遅刻は許されない（3回遅刻で1回欠席にカウントする）。